

令和4年度 第4回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月3日（金） 午後1時05分から午後2時40分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、稲垣正、石川隆久、小田木真砂子、藤田嘉代、木俣契一、石田潤司
- 4 欠席委員 長谷川真奈美、熊谷宗佑、大村清美
- 5 学 校 齊藤昌長（校長）、黒柳泰行（教頭）、朝比奈愛子（CS担当職員）
- 6 教育委員会 小川誠司（教育総務課）
- 7 傍聴人 なし
- 8 協議事項
 - (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告
 - (2) 夢育やらまいかCS加算分の報告
 - (3) 学校関係者評価について
 - (4) 令和5年度の経営方針について
 - (5) 学校運営協議会の自己評価について
- 9 会議録作成者 朝比奈愛子（CS担当職員）
- 10 会議記録

司会の黒柳教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。

また、前回運営協議会后に議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告

議長の指示により、小田木委員、藤田委員から別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・報告通り、この3年間で活動がとても充実してきている。学校支援コーディネーターの働きが素晴らしい。任期があるとのことだが、ぜひ、うまく後任との引き継ぎをしてもらいたい。（石川委員）

(2) 夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、黒柳教頭から、別紙資料に基づき、ボランティア（気賀っ子応援団）に参加してくださった方へのお礼を報償費より使用したとの報告があった。

(3) 学校関係者評価について

議長の指示により、黒柳教頭から、別紙資料に基づき、以下のとおりアンケート結果についての説明があった。

- ・「挨拶」について、児童の達成度に対して、保護者と教員の評価が低いのが気になる。
- ・「進んで運動したり、外で遊んだりする」について、児童職員に比べ、保護者の評価が低い。これに関して、学校の様子が十分に伝わっていないのではないか、保護者が感じていることや求めていることと、児童、職員のものとは異なるのではないか。
- ・「健康や安全」について、児童、保護者は90%が達成に対して、職員の評価は（80%以上は達成しているが）やや低い。
- ・「自主的に家庭学習」について、児童約85%達成に対して、保護者は約60%、職員は約55%で、保護者、職員が求めるものと児童の意識が異なることが考えられる。
- ・「学校の情報の発信」について、紙媒体の連絡からさくら連絡網での発信に変えたこともあり、職員約95%達成に対して、保護者は約85%と差がある。これは、HPが市内小中統一されたことにより、各校独自の細かいページ作成ができていく面もあるかもしれない。
- ・「家庭や地域との連携」について、CSについては、市内他校に比べても充実していると感じるが、保護者に伝わっていないところもあるのかと感じる。

以上の報告を受け、委員から以下の発言があった。

・気賀小学校は、昔から地域に開かれている学校なので、地域も保護者も協力的になれる。
(稲垣委員)

・最近、子供たちの様子(挨拶)を見ていると、低学年の頑張りりと高学年の姿の変容が見られ、嬉しく感じる。学校関係者評価の①～⑥の項目については、子供たちの中に、気賀小のシステム(大切にしていかなければならないこと)が入っていると感じる。

いろいろな項目があるが、90%達成であっても、残りの10%の子供たちに声を掛けていきたいと考えている。(齊藤校長)

以上、協議の結果、全員異議無くこれを承認した。

(4) 令和5年度の経営方針について

議長の指示により、齊藤校長から、別紙資料に基づき令和5年度の経営方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・今年度、ロードマップを作成し、実施したことでよかった点と悪かった点はどこか。
(宮崎委員)

・よかった点は、「スタート」「チャレンジ」「チェンジ」「ステップアップ」という言葉が、合言葉的に子供たちに落ちたこと。悪かった点は、言葉は落ちたが、それぞれの内容が子供たちにしっかりと落ちていたのか、伝わっていたのか、ということ。

教師と子供にそれぞれ「この時期にはこれをやる」というはっきりとした基準を表したくて、前・後期にしてこのロードマップをつくった。(齊藤校長)

・2期制を導入して、保護者や子供の反応はどうだったか。(稲垣委員)

・それに関してはアンケートをとっていない。(齊藤校長)

・子供(6年)は長期休暇の前に成績がない、という違和感を感じている。しかし、今年度変わったばかりなので、慣れていけば受け入れられるのではないか。現に、1年生の子供は、当たり前なものとして受け取っている様子が見られた。(小田木委員、藤田委員)

・職員にも、夏休み・冬休み前に、子供を認めて、それを伝える時間を設定する必要があると感じる。(齊藤校長)

・浜松市は3学期制なので、本校は「成績2期制」という言い方をしている。(齊藤校長)

・1年を4分割してあるステージの1つずつで、成績ではなく、そのステージの反省や達成度を子供や教師が判断できることを設定すればよいのではないか。(宮崎委員)

・今年度、ステージごとに「学級力アンケート」を各クラスで行っている。(齊藤校長)

・学級単位の振り返りだけでなく、個々でも各ステージの達成度を意識させたい。

(稲垣委員)

・個人目標を毎月行っているが、目標シートの形を検討していきたい。(齊藤校長)

・子供は花丸をもらおうと嬉しいし、自分を認められた気持ちになれる。

(稲垣委員、宮崎委員)

・職員は、学校経営構想の中にある文字の裏に隠れている姿をしっかりと見据えて、子供たちと接して行ってほしいと考えている。(齊藤校長)

以上、協議の結果、全員異議無くこれを承認した。

(5) 学校運営協議会の自己評価について

・運営協議委員がもっと学校にきて子供たちの様子を見られるように、参観会の通知などを委員にも送ってもらえるとよいのでは。(宮崎委員)

・CSの活動もぜひ参観してほしいが、たくさんあるため、連絡が頻回になってしまう。どのように連絡するか、検討したい。(小田木委員)

以上、協議の結果、全員異議無くこれを承認した。

その他連絡事項

・令和5年度の第1回運営協議会は令和5年4月17日(月)を予定しているとの連絡があった。